



平成29年9月21日

各位

上場会社名 株式会社アパールデータ
 代表者 代表取締役社長 広光 勲
 (コード番号 6918)
 問合せ先責任者 管理本部担当部長 大関 拓夫
 (TEL 042-732-1000)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成29年5月16日に公表した業績予想及び配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成30年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,380	415	425	20	3.33
今回修正予想(B)	3,800	580	595	165	27.25
増減額(B-A)	420	165	170	145	
増減率(%)	12.4	39.8	40.0	725.0	
(ご参考)前期第2四半期実績(平成29年3月期第2四半期)	3,573	329	346	237	39.71

平成30年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,280	825	845	315	52.39
今回修正予想(B)	6,900	1,080	1,105	515	85.06
増減額(B-A)	620	255	260	200	
増減率(%)	9.9	30.9	30.8	63.5	
(ご参考)前期実績(平成29年3月期)	7,797	906	933	685	114.08

平成30年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,850	415	820	1,230	204.55
今回修正予想(B)	3,300	570	980	1,500	247.75
増減額(B-A)	450	155	160	270	
増減率(%)	15.8	37.3	19.5	22.0	
(ご参考)前期第2四半期実績(平成29年3月期第2四半期)	2,377	252	286	214	35.92

平成30年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,750	825	1,240	1,525	253.61
今回修正予想(B)	6,400	1,070	1,490	1,850	305.56
増減額(B-A)	650	245	250	325	
増減率(%)	11.3	29.7	20.2	21.3	
(ご参考)前期実績(平成29年3月期)	5,393	711	754	592	98.60

(注)業績予想については、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

修正の理由

(1) 連結

当期における半導体業界は、前期より大手半導体メーカーの次世代プロセス関連の設備投資が継続しており、半導体製造装置関連市場における需要は、現在、順調に推移いたしております。また自社製品・画像処理モジュールにおいても、新製品の立ち上がりに加え、新分野での展開が好調に推移しております。このため平成29年5月16日付け「平成29年3月期決算短信」にて発表しました売上予想額を上回る見込みとなりました。また営業利益、経常利益及び純利益におきましても、売上高の増加及びこれに伴う生産稼働率の改善ならびに自社製品全般が好調なことによる売上総利益の向上によりそれぞれの予想数値を上回る見込みとなりました。

(2) 個別

連結における修正理由同様、個別においても前回の業績予想を修正いたします。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成29年5月16日発表)	—	17.00	—	23.00	40.00
今回修正予想	—	21.00	—	28.00	49.00
当期実績	—	—	—	—	—
前期実績 (平成29年3月期)	—	12.00	—	27.00	39.00

(注)今回修正予想の1株当たり28円の期末配当予想には、22円の普通配当に加え、6円の創業60周年記念配当が含まれております。

修正の理由

当社は株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要施策の一つと考え、安定的な配当にも考慮しつつ、各期の連結業績に応じた利益の配分を基本方針としております。そして将来の企業価値向上に向けた事業投資に伴う中長期的な資金需要や財務状況の見通しなどを総合的に勘案し、連結配当性向35%を基本に株主の皆様への成果配分を行ってまいりました。

このような方針のもと、今回の業績予想の修正並びに株主の皆様への利益の配分の基本方針を考慮し、平成29年5月16日に発表した配当予想を上記のとおり修正いたします。

以 上